

公開シンポジウム

「より安全な国際移住のための 仕組みとは」

—当事者の目線から創るつながりを目指して—

日時： 2023年10月13日（金）14時00分～16時30分
方法： ウェビナー（zoomウェビナー）
主催：（公財）日本国際交流センター
助成：（公財）トヨタ財団
言語： 日韓・日英同時通訳
参加費： 無料

申し込みはこちらから



プログラム

14:00 開会挨拶

14:00-14:15 報告
「ネパール、ミャンマーから日本、韓国への移動する人々」
報告者： 李 恵珍 公益財団法人日本国際交流センターシニア・
プログラム・オフィサー

14:15-15:15 パネルディスカッション I
「日本、韓国での就労・生活を選択する人々
—ネパール、ミャンマーの声、役割—」
パネリスト： ネパール及びミャンマーの日本、韓国への送出し関係者
モデレーター： LEE Wan アジア人権文化連帯共同代表

15:15-15:25 休憩

15:25-16:25 パネルディスカッション II
「移動する人の『知る権利』を保障するために—受入れ側の役割」
パネリスト： LEE Wan アジア人権文化連帯共同代表
SOE Moe Thu 在韓ミャンマー労働者福祉センター
運営委員長
Bhupal Man SHRESTHA エベレスト・インターナショナル・
スクール前理事長
井上 泰弘 一般社団法人大阪外食産業協会副会長
モデレーター： 毛受 敏浩 公益財団法人日本国際交流センター執行理事

16:25-16:30 閉会あいさつ
狩野 功 公益財団法人日本国際交流センター理事長

登壇者略歴

◆挨拶

◆報告

狩野 功 (KANO Isao)

(公財)日本国際交流センター 理事長



1984年三菱商事株式会社入社。ウィーン、デュッセルドルフ、ブリスベン、北京、上海、シンガポール、ロンドンに駐在し、金属資源事業を中心に、開発、投資、取引、経営に関わる業務を各国で歴任。2016年三菱商事理事金属資源トレーディング本部長兼三菱商事RtM International Pte. Ltd. 会長・CEO、2018年三菱商事理事欧州統括兼欧州三菱商事社長。Mitsubishi Corporation Fund for Europe and Africa Trustee並びに在英国日本商工会議所会頭、英国日本クラブ副会長、Japan House London Trustメンバーを歴任。2023年4月より現職。1984年一橋大学商学部卒。2012年Harvard Business School LFO履修。

李 恵珍 (LEE Hyejin)

(公財)日本国際交流センター シニア・プログラム・オフィサー



韓国出身。2003年に留学生として来日。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。一橋大学、お茶の水女子大学のリサーチ・フェローを経て2014年11月より現職。移住当事者として、日韓の移民政策、アジアの移住労働を研究する傍ら、移住者支援活動にも参加。著書に、「Challenges of and Coping with Immigration in Korea: The State, Civil Society, and Migrant Workers」(Asia on the Move: Regional Migration and the Role of Civil Society, JCIE, 2015)、「問われる『一時的』雇用の発想—韓国を例に外国人政策を考える」(朝日新聞出版、『Journalism』No. 348)

◆パネルディスカッション

イ・ワン (LEE Wan)

アジア人権文化連帯共同代表



2000年より移住労働者支援に携わり、2004年に共同で「Solidarity for Asian Human Rights and Culture」を設立して移住労働者の権利擁護に取り組む。人種差別や文化多様性等の研究活動も活発に展開し、文化観光部の文化多様性にかかわるコンサルタント(2014～19)、国連の人種差別撤廃条約に対応するNGO連合の代表(2018-)、国家人権委員会「嫌悪差別対応特別委員会」委員(2019年～20)、外国人移住労働協議会代表(2022年)などを歴任。現在、ソウル特別市教育庁多文化教育諮問委員、韓国国際移住学会対外協力理事を務める。

ソ・モ・ツ (SOE Moe Thu)

在韓ミャンマー労働者福祉センター運営委員長



ミャンマー出身。1995年に来韓。2003年より移住者運動に携わり、移住労働者による多国籍バンド「Stop Crackdown」のメンバーとしても活動。「Burma Action Korea」幹事、「Migrant Workers TV」代表・ドキュメンタリーPDなど歴任。2013年に在韓ミャンマー人と協働組合型会社「ブドゥック・グローリー」を設立し、人権活動やミャンマーの子ども・貧困層への支援を行う。また、在韓ミャンマー労働者の権利保障や教育等を行う「ミャンマー労働者福祉センター」(2019年)の設立を手掛け、運営委員長を務める。韓国人権財団「2010人権芽胞章」、国家人権委員会の「人権賞」(2010年)受賞。2011年に最高裁より難民認定。

シュレスト・ブパール・マン (Bhupal Man SHRESTHA)

エベレスト・インターナショナル・スルール・ジャパン前理事長、CE HUMAN RESOURCES 株式会社代表取締役



ネパール出身。2003年に留学生として来日。2011年に創価大学大学院経済学研究科博士課程を修了後、新宿区で在日ネパール人向けのネパール語新聞を発行する株式会社GMTインターナショナルを設立。2013年4月にネパール政府の認可を受けたネパール人学校「エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパン」を設立し、2020年まで理事長を務める。新宿多文化共生まちづくり会議委員(2012～18年)、東京都多文化共生推進委員会委員(2017年～)など多文化共生と在日ネパール人コミュニティの活動に携わる。千葉商科大学の非常勤講師。経済学博士。

井上 泰弘 (INOUE Yasuhiro)

一般社団法人 大阪外食産業協会副会長(外国人雇用推進部門長)



19歳で外食業に就き、現在39年目。株式会社ヒロフードサービス 代表取締役、農水省食品産業特定技能協議会委員、2025大阪関西万博ORA外食バビリオン運営本部長。慢性的な人材不足に対して、自身の目で途上国の学校を訪問調査。そこで得た知識・経験と日本国内の採用企業で何が起きているのか?事例検証。また、外国人が外食業で働ける環境整備の為、外食業独自の認証制度の運用に取り組んでいる。

毛受 敏浩 (MENJU Toshihiro)

(公財)日本国際交流センター 執行理事、チーフ・プログラム・オフィサー



慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学公共政策大学院修士。兵庫県庁で10年間の勤務後、1988年より日本国際交流センターに勤務。多文化共生・移民政策、草の根の国際交流調査研究、二国間賢人会議、NGO、フィランソロピー活動など多様な事業に携わる。現在、文化庁文化審議会日本語教育小委員会委員、新宿区多文化共生まちづくり会議委員。総務大臣賞自治体国際交流表彰選考委員、内閣官房地域魅力創造有識者会議委員、やまなし多文化共生社会実現構想委員会委員等を歴任。著書に『人口亡国—移民で生まれ変わるニッポン』(朝日新書、2023)、『移民がひらく日本の未来』(明石書店、2020)等。

*本シンポジウムは、公益財団法人トヨタ財団の国際助成を得て取り組んできた「越境的移動における情報保障の社会基盤—公正で安定した移住の実現に向けて」の一環として実施します。

問い合わせ

公益財団法人日本国際交流センター
グローバルな人の移動事業担当 youth@jcie.jp